

都市機能の充実

公共交通の利用が困難な地域において新たな交通手段を確保するため、自治会などでの地域乗合交通の運行を支援し、地域の特性やニーズを踏まえた地域交通のさらなる充実を図ります。

道路網の整備については、中川原橋や鏡田橋などの架け替え工事を進めるほか、道路橋や舗装の長寿命化対策を実施し、安全安心な道路交通の確保に努めます。

水道水の安定供給については、小豆沢地区の拡張工事を継続し、上水道未普及地域の解消を図ります。

また、交通結節点の利便性向上を図るため、鹿角花輪駅前広場整備事業に取り組みほか、まちづくりの基本方針となる都市計画マスタープランの見直しを進めます。

住環境の整備については、毛馬内地区の公営住宅整備に向け、用地取得や造成工事を進めます。また、民間住宅のリフォームや木造住宅の耐震化に対する支援を継続し、居住環境の向上と市内経済の活性化を図ります。



空き家の適正管理

空き家の実態調査から5年が経過したことから、新たな空き家や既存空き家の状況を調査し、引き続き適正管理や利活用を呼びかけながら、空き家などの発生を抑制していきま

地域づくりの推進

地域の課題解決に向け、自治会元気づくり応援補助金や自治会コミュニティ再生応援事業を継続するほか、集落支援員を派遣し、集落の課題整理や自治会の主体的な取り組みを支援しながら、地域コミュニティの活性化を図ります。

ライフデザインを支援する出会い応援事業については、新たに仙台圏の女性を招待し市内男性との交流ツアーを実施するほか、あきた結婚支援センターの月1回の出張開設を継続しながら、出会いの機会の拡充に努めます。

国際交流については、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会におけるハンガリーのホストタウンとしての登録を受け、ハンガリー人の国際交流員を配置して受け入れ準備を進めるほか、姉妹都市であるショブロン市との人的交流を図り、本市から行政訪問団や女子中学生で構成するバスケットボール競技のスポーツ交流団を派遣し交流を深めます。



移住フェアでの移住コンシェルジュによる丁寧な説明

教育執行方針 豊かな心と文化を育むまちづくり

学校教育の充実

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、学習意欲の向上を図るとともに、各校への外国語指導助手派遣や授業以外の体験講座により、コミュニケーション能力や異文化理解など国際感覚豊かな人材を育成します。

道徳教育の質的改善を図るとともに、ふるさと・キャリア教育の推進、地元企業や小中高の連携を充実させながら、夢や目標をもって生きる意欲を育む活動などを支援し豊かな心の育成を図ります。

臨床心理士によるカウンセリングや児童生徒のいじめ防止に係る主体的な取り組みのほか、学校評価制度の活用により、児童生徒、保護者に信頼される、特色ある学校づくりを推進するほか、学校事務共同実施の機能強化により業務改善を推進します。また、各種支援員を配置し特別支援教育の充実に努めます。

学校統合については、花輪北小学校と平元小学校の統合について協議会を設置するほか、末広小学校と十和田小学校、草木小学校と大湯小学

校が、平成31年4月にそれぞれ統合し、新たな学校として開校を迎えるため、子どもたちがスムーズに人間関係を構築し、充実した学校生活を送れるよう、交流活動や教職員の意見交換などを重点的に進めます。

あわせて、十和田小学校のトイレ環境を整備するほか、花輪第一中学校については2カ年の計画で大規模改造工事に着手します。また学校給食施設については平成31年4月開設に向けて整備を進めます。

生涯学習の推進

市民のさまざまなニーズに対応しながら、生涯学習をより効果的に展開するため、地域づくり協議会や社会教育関係団体との連携をさらに進めるほか、地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、学習成果を生かした活動を支援し、地域で活躍する人材の育成を図りながら、地域コミュニティ機能の充実や、地域づくり活動の活性化を目指します。

また、学校・家庭・地域のネットワークにより、子どもたちの成長を地域で支える地域教育力を向上させ

移住・定住の取り組み

移住者による起業や移住者同士のネットワークの広まりが新たな移住者呼び込み推進力となり、平成27年度の取り組み開始から、移住者数は累計100人を超えました。

3月末で退任する移住コンシェルジュが運営するNPO法人との連携により、移住相談や定住支援体制の充実を図り、子育て世代を中心とした移住者のさらなる増加を図ります。

芸術・文化の振興

文化の杜交流館モッセを拠点として、優れた芸術文化や、郷土の伝統芸能・文化にふれあう機会を創出するとともに、市民の多彩な芸術文化活動を支援していきます。

郷土の歴史民俗の調査研究や、収蔵する古文書などの整理を進めるほか、新たにオープンした歴史民俗資料館では、資料の展示や学習機会を創出しながら、地域の貴重な財産である文化財への市民意識の醸成を図ります。

また、郷土民俗芸能の後継者育成や伝承活動を支援するとともに、保存会や関係団体と連携しながら、魅力ある地域資源の活用を図っていきます。

さらに、特別史跡大湯環状列石については、4道県および関連市町村と連携しながら、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として、世界文化遺産登録に向けた取り組みを進めます。



大湯環状列石